東京都倫理法人会広報誌グッドモーニング

GOOD MORNING

12
DECEMBER
2026
Vol.438

日本を知る、倫理法人会を知る。

「もと」を知る。「もっと」学ぶ。

P2-3 日本の本〈もと〉とつながる研修会 知るほどに、日本と、自分とつながる。
P4 キャリア委員会 背中で伝える、次代へつなぐ。
P5-6 会員スピーチFestaレポート 優勝を生んだ北区の礎（もと）
P6-11 もっと知りたい！ 東京都倫理法人会
P12 経営の今と未来を磨く、3つの塾
P13 純粋倫理の基（もと）を学ぶ「基礎講座」
P14 R9年度 研修委員会 年間スケジュール
P15 12月～2月 PICK UP SCHEDULE
WEB×GOOD MORNING×広報委員会 東京都倫理法人会をもっと知る

一般社団法人倫理研究所
東京都倫理法人会
TOKYO RINRI HOJINKAI

特集　日本の本〈もと〉とつながる研修会

知るほどに、日本と、自分とつながる。

日本の本〈もと〉をたどる、学びの旅。

日本の歴史や文化、倫理運動の原点を学び、
その地に立ち、仲間と語り合う。
先人の思いに触れる体験を、
家庭・仕事・地域での実践につなげる
年間研修です。



2024年の知覧研修より。
仲間とその地に立ち、
感じたことを語り合う。

— 1 — 知る ▶ — 2 — 感じる ▶ — 3 — 語る ▶ — 4 — 実践する

企画 01　2026年11月14日（土）15:00-17:00



勉強会①

東 亜由美さん

日本の歴史・天皇家、文化・神道・祭祀の基礎に触れ、これから訪れる場所の背景を学ぶ、最初の勉強会。

※懇親会は別途

日本教育会館　定員 90名　参加費 2,000円

企画 02　2026年12月5日（土）10:00-17:00



丸山敏雄創始者御墓所参り 多摩御陵参拝

工藤 直彦 法人スーパーバイザー

倫理運動の原点と日本の近代史を一日の中で学ぶ。創始者の思いと今の倫理活動とのつながりを考えます。

※懇親会は別途

立川周辺集合・貸切バス　定員 50名　参加費 5,000円



学びを、春の約束へ。

知覧から靖國へ。先人の思いを、これからの生き方につなぐ。

企画 03　2027年1月16日（土）〈予定〉



勉強会②

野田 安平さん

知覧・靖國研修に向けた事前学習。戦前・戦中・終戦前後の歴史や、特攻隊と慰霊について学ぶ。会場は決まり次第ご案内します。

会場未定　定員 90名　参加費 未定

企画 04　2027年2月27日（土）・28日（日）



知覧研修〈1泊2日〉

希望者が多い場合は3月にも開催

鳥濱 拳大さん

知覧特攻平和会館の見学、現地講話、仲間との対話。命・家族・志・平和を、現地で感じ、考えます。

鹿児島県南九州市知覧町周辺　【現地ガイド】近 靖彦さん

定員 25名　参加費 80,000円　※現地までの交通費は別途。

企画 05　2027年4月5日（月）13:00-17:00



靖國神社 正式参拝・研修

大塚 海夫 宮司〈靖國神社〉

講話・正式参拝・遊就館見学を通して年間の学びを振り返る。慰霊と感謝の心に触れ、一人ひとりの今後の実践へつなげます。

靖国会館・遊就館　定員 150名　参加費 2,000円

※すべての企画に、会員以外の方も参加できます。気になる研修から、第一歩を。

研修会のHP

各企画の詳細・募集状況の最新はこちらから。

pr.tokyo-rinri.net/nihon-no-moto/

LINE友だち登録

開催・募集案内を受け取り、次の学びも一緒に。

会員以外の方も登録できます



知覧特攻平和会館にて



「靖國で会おう。」

あの約束を、
春の桜の下で、もう一度。

提供写真をもとにした開花イメージ
（AI加工）

掲載情報：

2026年10月12日時点。日程・内容等は変更の場合があります。
最新情報はHP・LINEでご確認ください。



キャリア委員会 INTERVIEW

キャリア委員会が育む、
会長経験者のチカラ

背中で伝える、次代へつなぐ。



今期のキャリア委員会が大切にする「歴代会長の背中を見せる」という思い。矢島正章委員長、坂下保文副委員長への取材で、その意味が見えてきた。

会長を終えても、こんなに生き生きとモーニングセミナーに出ている。

矢島 正章 委員長

会長経験者には、単会を率いる中で重ねてきた実践や、喜び、苦労がある。その経験を持つ仲間がつながり、役を終えた後も楽しく活動できる場をつくることが、キャリア委員会の大切な役割だ。「歴代会長が楽しめる会であればいい。自分たちが生き生きしている姿を見せることが、現役職者の力になる」と矢島委員長は語る。会長の役を終えた先にも、学びや仲間との交流がある。先輩たちがそれを楽しむ姿は、今、役を担う人にとって、将来への希望にもなる。

取材では、朝早くから会場の準備をし、お出迎えを続ける相談役の姿が話題に上った。毎週足を運び、単会の成長をともに喜ぶ。その日々の行動こそが、「背中を見せる」ということなのだろう。本号の北区倫理法人会の記事にも、単会を支える相談役の姿が登場する。「会長が、単会が、より輝くように。歴代会長が背中を見せて、活性化につながる活動をしていきたい」その思いを形にする機会として、**令和9年2月12日に「歴代会長会」を企画している。**100名以上の会長経験者が集うことを目指す。

「『東京覚醒』という東京都のビジョンに対して、歴代会長としてどう協力していけるのか。みんなで話し合えれば」。久しぶりに顔を合わせる仲間と交流し、これからの自分たちにできることを考える。歴代会長の皆さまには、ぜひ日程を心に留めていただきたい。

毎月の定例会では、豊かな経験を持つ委員による事業体験報告も検討している。「倫理の体験を事業に生かした報告とは、こういうものだという、一つの見本を示すことにもなれたら」積み重ねてきた経験を分かち合い、次の実践へつなぐ。そこにも、会長経験者だからこそ果たせる役割がある。

『GOOD MORNING』でも今後、各単会で背中を見せ続ける相談役を訪ねる企画を予定している。取材した方から次の方をご紹介いただき、会長時代の歩みや今も続ける実践、後輩への思いを届けていく。

会長を終えた後も続く学びと実践。その背中が、次に歩む人の一歩を後押ししていく。

取材：古川幸子（江東区）・小野崎悟（江東区）



その姿を、言わなくても背中で見せれば、現役職者の力づけになるんじゃないかな

坂下 保文
副委員長





［ 会員スピーチFestaレポート ］

優勝を生んだ北区の礎（もと）

そして――今期、「北区開闢神話」が始まる

令和8年度 会員スピーチFestaでブロック代表の登壇者を輩出し、応援合戦の投票でも見事優勝を果たした北区倫理法人会（以下、北区）。その背景にあったのは、フェスタのためだけの特別な取り組みではなく、前期までに積み重ねられてきた「実践の仕組み」、仲間を応援する文化、そして地域に根ざした日々の活動でした。さらに9月からは、關口奈美会長、新井雅美専任幹事による新体制がスタート。優勝を生んだ土台と、それを受け継ぐ今期の姿を伺いました。

会員スピーチFestaで見えた、北区倫理法人会の「日常の力」

1 実践者を育てる 会員スピーチ



北区では、会員スピーチを実践につなげる機会として育ててきました。今につながる仕組みが始まったのは、渡邊剛之前会長の代の2年目。会員スピーチで、**100日実践の宣言→1か月後の実践報告**という仕組みがつくられました。さらに3年目からは、**100日実践宣言→中間報告→ハーフ講話**という現在の形へ発展しました。宣言して終わるのではなく、実践し、振り返り、自分の体験として語る。その流れが、実践者を育てる土台になっています。

今回登壇した安達明美会員（現・幹事）が取り組んだのは、お母様に「ありがとう」を伝える実践。きっかけは、倫親が背中を押してくれたことでした。**「母との関わり方や見方が変わりました。それは大きな変化でしたし、何より自分自身と向き合うことができました」。**その実践は、現在の「主人をほめる」実践へ。まだ劇的な変化ではないものの、夫婦で現場に入る際の気持ちや立ち回りにも、少しずつ変化を感じているそうです。

2 地域の中で育った 応援する力



フェスタ当日の一体感ある応援も、一朝一夕で生まれたものではありません。北区では、この2年間、地域に根ざした歴史ある「赤羽馬鹿祭り」に参加してきました。祭りに向けてみんなで踊りを練習し、当日は会のイメージカラーであるピンクのお揃いのTシャツを着て、声を出し、パレードを盛り上げました。仲間同士の親睦だけではなく、地域の一員として祭りに参加する。地域社会への貢献を大切にする倫理法人会だからこそ、こうした経験も北区の一体感を育ててきたのではないでしょうか。

木更津在住の安達会員は、本番前に倫親が暮らす九十九里でスピーチを練習。北区の会員も応援に駆けつけ、その後もZoomでブラッシュアップを重ねました。「倫友に背中を押していただき、非常にいい経験ができました」。地域でともに汗をかき、仲間を応援する。その積み重ねが、フェスタ当日の力にもつながっていました。



3 見えないところまで整える

北区には、会場の机や旗を丁寧に整える相談役の姿があります。机をまっすぐ揃えるために使われているのは、長年大切に使われてきた手作りの木製道具。また、今年、会員有志で参加した北区花火会でも、「有料席のシールを剥がしてください」とアナウンスがあると、北区のメンバーは率先して後始末の実践に動きました。誰かに見られるためではなく、気づいたことを行動に移す。こうした日常の積み重ねも、北区の文化をつくっています。



優勝を受け継ぎ、新しい北区へ



令和8年9月からは、關口会長・新井専任幹事による新体制となり、モーニングセミナーにも新たな空気が生まれています。北区生まれ、北区育ちの關口会長が掲げるのは、**「北区開闢神話」**というスローガンと、**「日本一、純粋倫理を実践している会」**を目指すこと。そして、**「純粋倫理ですから、実行すれば必ず結果が出る」**と語ります。フェスタの優勝も、一つの結果。大切なのは、会員一人ひとりが学んだことを実行し、その実践がまた次の実践へとつながり、さらに地域へと広がっていくことです。

安達会員は北区について、**「北区の雰囲気は何か違うと感じた」**と話します。その「何か」は、特別な一つの取り組みではなく、人を育て、仲間を応援し、地域を大切にする日々の小さな実践の積み重ねなのかもしれません。

スピーチFesta優勝を一つの通過点として、北区の次の物語―「北区開闢神話」は、すでに始まっています。



もっと知りたい！

まもなく50単会へ

東京都倫理法人会

東京都倫理法人会には、設立準備中の単会も含めて50の単会があります。

それぞれの地域に、それぞれの歴史があり、会長がいて、役員がいて、会員一人ひとりの実践があります。
けれど、自分が所属する単会以外のことは、意外と知らないもの。

こんな活動をしている単会があるんだ

こんな実践を続けている人がいるんだ

今度、このモーニングセミナーに行ってみたい

そんな新しい出会いや気づきを生み出すことも、広報の大切な役割だと考えています。
『GOOD MORNING』では、東京都倫理法人会で活動する人や単会、委員会、さまざまな取り組みを取材し、その背景にある「思い」や「実践」を伝えていきます。
今期は、50単会を順番に訪ね、それぞれの魅力を紹介していく企画もスタート。

次ページからお楽しみください！

第1ブロック

江東区 倫理法人会

一人ひとりへの声かけが育む、温かな実践の輪

モーニングセミナーの会場で、会員やゲストを迎える歴代会長たち。その温かな見守りが、江東区倫理法人会の土台になっています。第13代会長として2年目を迎えた中山陽子会長が大切にするのは「尊己及人」。自分の個性や持ち味を生かし、周囲にも良い影響を届けたいという思いで学びを重ねています。





取材対応:
岩田茂(葛飾区)・
小野崎悟(江東区)

今期のスローガンは「タイムイズライフ―時は命なり―」。限りある時間の尊さを自覚し、今この瞬間を大切にしながら自己革新を目指します。そのために広げたいのが、会員一人ひとりの実践と体験報告です。学びを日常で実践し、習慣にして、どのような変化があったのかを伝え合う。会員スピーチや講話を、その機会にしていきたいと考えています。

実践を続ける支えとして、渡辺圭専任幹事が「100日実践グループLINE」を開設しました。一人では挫折しそうなことも、仲間と共有すれば続ける力になる。中山会長も、仲間と共に100日実践に取り組んでいます。運営でも、一人ひとりとの関わりを大切にしています。渡辺圭専任幹事は、MS前日に会場設営や役割について個別に連絡し、終了後にはお礼を伝えています。声をかけられることで、参加が自分事になる。髙橋龍司事務長も、役割を細かく分けることが朝礼からの参加につながると考えています。

歴代会長の出迎え、こまめな声かけ、仲間と続ける実践。江東区の明るく力強い雰囲気は、こうした日々の関わりに支えられています。みんなが実践者となり、体験報告者となる。その輪を広げる単会づくりが進んでいます。

第1ブロック

葛飾区 倫理法人会

下町の温かさを力に、地域と歩む40周年

設立40周年に向け、会員100社を目指す葛飾区倫理法人会。第15代の今井啓揚会長は、下町ならではの人情味あふれる温かさを単会の魅力に挙げます。他地区から訪れた人にも、その温かさが伝わっています。

モーニングセミナーの会場は柴又帝釈天。前会長や地域の方々の協力によって実現しました。使われていなかった会場を皆で清掃し、トイレの改修や机の一新を重ね、気持ちよく学べる空間を築いてきました。住職の講話も、この会場ならではの魅力です。

今期、東京都倫理法人会が掲げるテーマは「覚醒」。普及チームを四つ編成し、企業訪問や退会した会員への再訪に取り組んでいます。その土台として今井会長が大切にするのは、「また来たい」と思える明るく元気なモーニングセミナーです。「明るいところには、人が集まる。」という思いを、日々の場づくりにつなげています。

福原恵子専任幹事が語るのは、30代から84歳まで、幅広い世代が和気あいあいと意見を交わし、学び合える良さ。急遽就任した今期は「明るく、チームで頑張る」を合言葉に、一人ひとりの長所を生かした活動を目指します。野本里子事務長は、地域とのつながりを広げる取り組みを紹介。金町・柴又、新小岩、高砂、小岩の4地区で地域活動を始め、瓦版の発行や『職場の教養』の配布を進めています。人と人との絆を大切に、三役が力を合わせ、地域と共に40周年への歩みを進めています。





取材対応:
佐久間喜望(荒川区)・
古川幸子(江東区)・
小野崎悟(江東区)

第2ブロック 赤　坂 倫理法人会

一人ひとりに居場所と出番。楽しみながら共に成長

明るく、話しやすく、初めて訪れる人も迎え入れる。赤坂倫理法人会では、一人ひとりの個性を大切にしながら、仲間と楽しんで実践することを重視しています。型にとらわれない自由な雰囲気は、取材の中で「サファリパーク」と表現されるほど。違う個性を持つ人たちが集まることも、赤坂の魅力です。





取材対応：飯田エミ（品川区）

第３代会長として２年目を迎えた服部拓真会長が大切にするのは、共に成長すること。今期は「遊ぶように楽しく実践し、夢中でやる」という思いを掲げています。実践を義務として背負うのではなく、楽しみながら取り組む。その先に、一人ひとりの変化や成長を目指しています。

単会づくりの軸は、初代会長から引き継いできた、一人ひとりに居場所と出番があることです。特定の人が役を抱え込まないよう、事務グループや朝活グループなどのチーム制を強化。会員がそれぞれの持ち味を生かして関われる環境を整えています。

服部会長自身も、これまでさまざまな役を経験してきたからこそ、つい口を出したくなる場面があるといいます。そこで意識しているのが「お役を超えない」こと。任された人が自ら考え、育っていく過程を見守ることも、会長としての実践です。

活動は会場の中だけにとどまりません。月1回の「赤坂ゴミ拾いの会」など、地域との関わりも大切にしています。仲間を大切にし、チームで支え合いながら、自分の出番を見つけていく。肩の力を抜いて参加できる明るさの中に、共に成長するための工夫がある単会です。

第2ブロック 築　地 倫理法人会

本願寺の鐘と共に40年。新しい力が心一つに

築地本願寺という特別な場所で朝を迎える、築地倫理法人会。モーニングセミナーの「静粛」の時間、境内に「ボーン、ボーン」と鐘の音が響く――。40 年の歴史をもつ築地ならではの、凛とした朝のひとときです。

歴史ある単会でありながら、今期を支える三役は比較的倫理歴が浅く、周囲の先輩たちが温かく見守っています。入会して間もなくても役を受け、すぐに実践できることも築地の魅力。水産関係をはじめ、築地らしい多彩な経営者が集います。

第 16 代・天野こころ会長の 1 年目。今期のスローガンは、会長の名前にもかけた「こころを 1 つに 101 社！」です。まずはマニュアルに沿った基本に忠実な運営を徹底し、101 社達成と 40 周年記念行事の成功を目指します。

「MS に来たら、今週も頑張ろうと思える。仲間との会話で温かい気持ちになれる」。そんな環境を丁寧につくりながら、新しい一歩へ。老舗の経営者も、新しい仲間も集う“日本の縮図”のような築地で、共に学んでみませんか。







取材対応：白石のり子（品川区）

第3ブロック 渋谷区中央 倫理法人会

「帰ってきた」と思える朝。一人ひとりが輝く「全員経営」

「帰ってきたな、と思えるんです」。毎週金曜日、それぞれの仕事や生活から再び仲間が集まる渋谷区中央倫理法人会。笑顔で迎え合い、時にはハイタッチ。モーニングセミナーを終える頃には心を新たにし、また次の一週間へと出発していきます。



現在の絆を大きく育てたのが、昨年度みんなで挑戦したステージ企画でした。歌をつくる人、楽譜にする人、振付を考える人、練習をまとめる人。それぞれの得意を持ち寄って一つのものをつくり上げる中で、会員一人ひとりが輝き、会の空気も大きく変わっていきました。

太田秀臣会長が掲げるのは「すぐやる、やればできる」。そして目指すのは、誰かに言われて動くのではなく、一人ひとりが自ら考え行動する「全員経営」の単会です。講話を聞くだけでなく、自ら言葉にし、仲間と関わり、挑戦する。そのたびに「新しい自分に出会える」。温かさと実践の力が、人をつなぎ、次の一歩を生み出しています。

取材対応：亀谷匠（霞が関）・吉野美由紀（世田谷区）





第3ブロック 世田谷区 倫理法人会

「ここに来ればあなたが輝く」一人ひとりがつくる単会

「一人ひとりの力が同じ方向を向いたら、どんなことが起こるのか」。設立40周年を迎えた世田谷区倫理法人会で、河明樹会長が大切にしているのは、会員それぞれの力を引き出すことです。

前年度までは副会長として自ら何でも動いてきた河会長ですが、今年度から会長となった今は、あえて仲間に任せ、見守ることにも挑戦中。「失敗しても責任は全部私にある」。その安心感の中から、「私がやります」「何か力になれませんか」と、自ら動く会員が次々に生まれています。

会場には女性も男性も、ベテランも新入会員も、さらには学生も集います。新しく入った会員がゲストを連れてきたり、若い世代が自主的に交流を始めたりと、それぞれの個性が自然に発揮されているのも世田谷区らしさです。「せっかく目指すなら高い未来、高い山」。明朗に、ワクワクしながら高い目標へ。会長と会員がお互いの思いに応えながら、みんなでつくる世田谷区倫理法人会。「ここに来ればあなたが輝く」――その言葉が、そのまま会の姿になっています。

取材対応：亀谷匠（霞が関）





第4ブロック

杉並区東

倫理法人会

「一緒に幸せになりましょう」温かさと学びが息づく朝

「一緒に幸せになりましょう」――そんな言葉がよく似合う杉並区東倫理法人会。会場に流れるのは、代々受け継がれてきたアットホームな空気です。明るく元気でありながら、伝えるべきことは愛をもってきちんと伝える。初めて訪れた人も自然と輪に入れる温かさがあります。



毎週金曜日のモーニングセミナーの舞台は、高円寺氷川神社。境内には日本で唯一の「気象神社」があり、地域とのご縁の中でこの場所を長く大切にしてきました。

今期は、倫理の学びをより身近にする取り組みにも力を入れます。工藤直彦法人スーパーバイザーを招き、『万人幸福の栞』の成り立ちや言葉の意味を、実生活の具体例と結びつけながら学ぶ勉強会を企画。長く学ぶ会員だけでなく、新入会員や入会を考えている人にも開かれた場を目指しています。

令和９年度の重永正徳会長が大切にするのも、誰もが楽しく学べること。「自分の幸せを見つけ、一緒に幸せになりましょう」。学びと温かさが自然に溶け合う、杉並区東らしい朝があります。



取材対応：新井良太（杉並区西）

第4ブロック

いたばし

倫理法人会

おもてなしを磨き、学びを深める。「いたばしクォリティ」の実践

いたばし倫理法人会は現在38年目を迎える単会で会員数は363社（2026年9月時点）。今回は土曜日のMSが終わったタイミングで諸橋宏明会長へお話をお伺いしました。

単会としての今期スローガンは《いたばしクォリティ》。"再来年40周年に会員が400人を超えた時にも、場の整ったおもてなし溢れる単会でいられるように"と、マニュアルを徹底し、「人にお願いし、感謝し、チームとして動いてもらう」質の高いMS運営を目指されています。

その他、いたばし倫理法人会には10単会以上の参加で構成される「いたばし委員会」という組織も。『ワイガヤ交流会』『アフタヌーンセミナー』『イブニングセミナー』『ナイトセミナー』をほぼ毎週、MS後に連続開催。"MS以外にも学べる機会を"と、朝から夜まで（諸橋会長曰く、懇親会も含めれば"始発から終電まで"）の充実した時間です。最大180人程も入れる大きな会場を会として借りているため、時間の縛りなく会場使用できるのもいたばしの大きな強み。

僕が到着した時はワイガヤ交流会のお時間で、賑やかさ・活気と熱量に圧倒されました。セミナーも「こんな方が？」というビッグネームの講師陣ばかりなのに、参加費は1000円等の参加しやすい金額設定。他会の皆さんも土曜日に是非参加されてみてください。僕も今度は丸一日、お邪魔させていただきたいと思います！

取材対応：
本間ちあ（北区）・臼田三良（いたばし）／
原稿：
田邊希望（杉並区西）





第5ブロック

八王子市

倫理法人会

温かく迎え、心をそろえる。歴史と挑戦が息づく八王子

会場に入った瞬間に感じる、あたたかく話しかけやすい空気―。八王子市倫理法人会には、長年この会を支えてきた歴代会長やベテラン会員が数多く在籍しています。中には設立当初から30年以上にわたり活動を続ける方も。しかも先輩たちはとても謙虚で、若い世代を自然と応援してくれるといいます。その雰囲気は、まるで「お父さんがいっぱいいるような感じ」。



一方、モーニングセミナーでは、静かに集中するところと、一気に声や動きをそろえるところのメリハリが印象的。坂本兼一会長の方針がしっかり共有され、会員が心を合わせて運営していることが伝わってきます。

セミナー後の朝食はバイキング形式。思わず欲張ってしまう品揃えの中、ダイエット中の坂本会長のお皿はサラダ中心という一幕も。そんな親しみやすさも八王子らしさです。

11月13日には雲龍寺で座禅と法話を体験する特別なモーニングセミナーも企画。世代を越えて支え合いながら、新しい挑戦を楽しむ八王子市倫理法人会。今、ますます活気づいています。

取材対応：坂本兼一（八王子市）・浅香美幸（福生・羽村）・野島恵子（福生・羽村）





第5ブロック

福生・羽村

倫理法人会

酒蔵に集う、あたたかな力。大切な人を連れてきたくなる朝

「あたたかいパワー単会」―谷澤亞希会長がそう表現する福生・羽村倫理法人会。毎週水曜日の朝、歴史ある石川酒造の蔵を会場に、明るく元気な仲間が集います。モーニングセミナーの後半には、ふわりと甘い酒の香りが漂うことも。おいしい朝食を囲むシェア会では、一人1分ずつその日の気づきを語り合います。

会員には元気な女性、楽しい男性が多く、倫理経営インストラクターの柴﨑記賢さんから深く学べることも単会の魅力。そんな温かな雰囲気の一方で、モーニングセミナーでは「メリハリ」と基本ルールの徹底を大切にしています。

11代目会長として2年目を迎えた谷澤会長が何より意識するのは「空気づくり」。今期のスローガンは「1、2、3、ダー！」です。「大切な人を連れてきたくなるような、楽しい単会にしたい」。1月の紅白歌合戦や歴代会長フォーラムなど、福生・羽村らしい企画も予定されています。「東京都の『東京覚醒』というスローガンが大好き。福生・羽村も覚醒していきます！」と谷澤会長。酒蔵から広がるあたたかなパワーに、今期も注目です。







取材対応：坂本兼一（八王子市）・浅香美幸（福生・羽村）・野島恵子（福生・羽村）

経営の今と未来を磨く 3つの塾

東京都倫理法人会には、立場や会社のステージに応じて、より深く学び、実践するための塾があります。**「経営を磨く」「次代を継ぐ」「これから組織をつくる」**。それぞれ目的の異なる３つの塾をご紹介します。

1 倫理経営実践塾

倫理を経営に落とし込み、本物の経営力を磨く。



経営者が**自社の経営と徹底的に向き合う10か月**。純粋倫理を土台に、経営理念、マーケティングとイノベーション、財務・計数管理、経営計画などを体系的に学びます。

学んだことを自社で実践し、発表と検証を重ねながら、本質的な経営力と実践力を養い、事業の永続的な発展を目指します。

こんな方へ **自社の経営を本気で見直したい経営者、経営理念・財務・マーケティング・経営計画を体系的に学びたい方。**

【参照URL】https://jissen-tokyo.hp.peraichi.com/

2 後継者倫理塾

受け継ぐものを知り、自分らしいリーダーへ。



企業の未来を担う後継者・次世代リーダーを育成する10か月。創業者の精神を正しく理解し、純粋倫理の学習と実践、宿泊研修や仲間との学びを通して、恩意識、人間力、経営者としての覚悟を育みます。自らの個性を生かし、家庭・会社・社会をよりよく導く「真の承継者」を目指す学びの場です。また、東京都倫理法人会では、伝統的に年度はじめ式の運営や朝礼甲子園で開演の際の朝礼を務めています。

こんな方へ **事業を継ぐ予定の方、経営幹部や次世代リーダーとして成長したい方。**

【参照URL】https://tokyo-rinri.net/committee/koukeisha/

3 倫理経営創生塾

一人社長から、組織を育てる経営者へ。



令和９年度から始動した新しい学びの場。主な対象は、一人社長や個人事業主、少人数企業など、これから事業を成長させ、組織をつくっていきたい経営者です。倫理を土台に、良い組織・環境・仕組みづくりを学び、経営者自身の成長とともに、顧客・社員・社会に貢献できる企業を目指します。将来、さらに本格的な経営を学ぶ倫理経営実践塾へつながっていく「入口」としての役割も期待されています。

こんな方へ **一人社長・個人事業主・少人数企業の経営者、これから組織化や事業拡大を目指す方。**

【Facebook】https://www.facebook.com/people/%E5%80%AB%E7%90%86%E7%B5%8C%E5%96%B6%E5%89%B5%E7%94%9F%E5%A1%BE/61594296298645/

｜研｜修｜委｜員｜会｜主｜催｜

研修委員会主催で９月19日、「基礎講座とは何か」をテーマに、工藤直彦法人スーパーバイザーにお話しいただきました。



純粋倫理の基（もと）を学ぶ「基礎講座」



モーニングセミナーが『気づき』の場だとすれば、倫理経営基礎講座は、その気づきを『理解』に変える場。

モーニングセミナーでは、毎週さまざまな講話や体験談に触れ、多くの気づきを得ることができます。一方で、「聞いたことがある」「知っている」ことと、その意味や背景まで体系的に理解し、自分の言葉で説明できることは別のものです。

倫理経営基礎講座は、純粋倫理について「**知る**」から「**分かる**」へ、学びを一段深めていく場所です。

工藤法人スーパーバイザーは、「知る→分かる→やってみる→変化する」という流れを紹介。「なぜそうするのか」が腑に落ちて初めて、迷いなく実践へ移すことができると語りました。

また、倫理経営で学ぶのは、単なる経営のテクニックではありません。会社や社員を変えようとする前に、まず「**自分はどうなのか**」と経営者自身に矢印を向けること。純粋倫理をよりどころとして、自らのあり方を見つめ、実践を重ねていくことに大きな意味があります。基礎講座で学びを深めることで、これまでモーニングセミナーで聞いてきた一つひとつの話が「**一本につながった**」と感じることもあります。そして、自分自身が理解できれば、倫理の良さを自分の言葉で周囲へ伝える力にもつながっていきます。

「参加してください」と呼びかけるだけではなく、**なぜ自分にとって基礎講座が必要なのか。参加することで何が変わるのか**。その価値を一人ひとりが知り、学び、実践につなげていくことが、単会のさらなる活性化にもつながります。

モーニングセミナーから、もう一歩深く。ぜひ倫理経営基礎講座で、純粋倫理の学びを深めてみませんか。



「なぜそうするのか」が腑に落ちて初めて、迷いなく実践へ移すことができる

（知る）→（分かる）→（やってみる）→（変化する）



お近くの倫理経営基礎講座をチェック！

東京都倫理法人会の各単会で開催されている倫理経営基礎講座は下記サイトからご確認いただけます。

https://bjwte.hp.peraichi.com/

※現在、サイトのリニューアルを検討しています。続報をお待ちください。

Annual

R9年度

研修委員会 年間スケジュール

倫理法人会での学びをもっと深めるために！研修委員会主催の学びの機会をチェック！

	日　程	行　事	時　間
2026年	12月6日(日)	感謝報告の会	13:00-15:00
	12月19日(土)	栞の学習会	14:00-16:00
2027年	1月16日(土)	法人レクチャラー研修	※未定
	2月5日(金)~7日(日)	富士研	
	2月20日(土)	新入会員オリエンテーション	14:00-16:00
	3月20日(土)	栞の学習会	14:00-16:00
	5月15日(土)	新入会員オリエンテーション	14:00-16:00
	6月19日(土)	栞の学習会	14:00-16:00
	8月21日(土)	栞の学習会(リアル開催)	10:00-12:15

Schedule

12月~2月 PICK UP SCHEDULE

日　程		行 事 名	会場／その他
DECEMBER 12月	6 SUN	会長会／事業報告会／感謝報告の会	@京王プラザホテル
	19 SAT	倫理経営実践塾	
	20 SUN	倫フェス NEXT RINRI Fes	
JANUARY 1月	11 MON祝	富士研 One Day ― 会長会を含む ―	
	16 SAT	倫理経営実践塾／法人レクチャラー研修	
	23 SAT	後継者倫理塾／MS朝礼コンテスト ブロック代表決定	
	29 FRI	富士研経営者倫理セミナー	
	31 SUN	北区 倫理経営講演会	
FEBRUARY 2月	6 SAT	江東区	
	8 MON	築地	
	13 SAT	深川	
	15 MON	目黒区	
	20 SAT	清瀬・東久留米準	
	26 FRI	足立区	
	27 SAT	江戸川区／新宿区	

倫理経営講演会、本格スタート!

WEB × GOOD MORNING × 広報委員会

東京都倫理法人会をもっと知る

誌面から、もっと広く。もっと深く。

『GOOD MORNING』では、東京都倫理法人会で活動する人や単会、委員会、さまざまな取り組みを取材し、その背景にある「思い」や「実践」を伝えていきます。ただ、16ページの誌面だけでは、取材で伺ったすべての言葉や、撮影した写真を掲載することはできません。そこで、誌面とWEBをつなぎながら、誌面では伝えきれなかったインタビューや写真、各単会の最新情報なども発信していきます。広報をきっかけに、人と人、単会と単会がつながっていくことを目指します。

「こんな実践をしている会員がいます」「うちの単会には、こんな魅力があります」「この活動をぜひ紹介してほしい」皆さまから届く一つひとつの情報が、東京都倫理法人会の魅力を伝える大切な素材になります。

これからの『GOOD MORNING』、そしてWEBでの発信を、ぜひ一緒につくっていきましょう。



GOOD MORNING
Vol.438 2026.12

あの感動を、再び——

倫フェス NEXT RINRI Fes

倫理法人会の文化祭！



R9年度 東京都倫理法人会 青年委員長　三井所大作

昨年、フェスをきっかけに16名もの方々が入会し、多くの感動と新たなムーブメントを生み出した「NEXT RINRI FeS」。
今回のテーマは**「倫理法人会の文化祭！」**
参加された皆さまが、倫理法人会の学びを、普段とは違った角度から体感できるイベントを目指します。

スピーチや講話とはまた違う、さまざまな「表現」を通して、
倫理法人会の楽しさや実践の素晴らしさを伝える場をつくってまいります。

本気で挑み、全力で楽しむ。
その姿こそが、最大の「普及」につながると確信しています。

開催日
2026年
12月20日(日)
13:00～21:00

会場
パームス秋葉原

申込QRコード

青年委員会一丸となって準備を進めております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

※写真は昨年開催時の様子

発行：(一社)倫理研究所 東京都倫理法人会 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-3 神田錦町ビル4階
TEL:03-6811-7840 03-6811-7841 FAX:03-6811-7135 https://www.tokyo-rinri.net/ pr@tokyo-rinri.net（広報委員会）